

「ご自身のご経験（関わった事例・見聞きしたことがある事例）」を下記の表に記入してください。  
フェーズごとに記入欄がございますが、ご自身のご経験に基づく事例のみのご記入で結構です。  
（本資料は当日の発言メモとしてお使いください。なお、会議当日に提出の必要はありません）

フェーズ				出会った事例	アプローチ手法	
	登校	外出	本人の状況		どう対応したか	上手くいった点と難しかった点
状態 0	できる	できる	登校に対する心理的負担を抱え、行き渋りがみられることもあるが、ほぼ毎日登校できている			
状態 1			週 1 ～ 2 日休む程度で登校している。または、登校できているが早退・遅刻が週の半分以上、あるいは保健室・相談室を時折利用している。			
状態 2			週 3 日以上欠席している。または登校しているが保健室等別室登校が週半分以上の状態である。			
状態 3	できない	できない	登校はできないが、学校以外の場所（フレンドセンター、フリースクール等）には定期的に通うことができている。			
状態 4			完全不登校で、定期的に通う場所もないが、外出はできている。			
状態 5		できない	完全不登校で、外にもほとんど出ないが、家では落ち着いた生活ができており、居間等で家族と関わることはできている。			
状態 6			完全不登校で外出もなく、家でもほぼ自室から出ないひきこもり傾向。家族とも関わる事がほぼない。			

※上記フェーズは「小児心身医学会ガイドライン集」より参照